

# EDELWEISS

## 小さな喜びを抱えて年越しを！

今年もクリスマスの飾りが街中を彩る季節になりました。エネルギー危機を考慮して、パーンホフ通りのルーシーは毎日の点灯時間を例年より3時間半短縮し、夜の10時には消灯されるそうですが、それでも気分は高揚します！

ようやく日本の水際対策が緩和され、久しぶりに日本で年越しなさる方も多いかもしれません。グラスホッパー・クラブ・チューリッヒで活躍する日本人サッカー選手の2人も、強豪FCバーゼルを0点に抑え2014年以来の勝利を飾り、ホッと一息、お里帰りしていることでしょう。

川辺駿選手に続き、瀬古歩夢選手からも皆様宛の動画メッセージを戴きましたので、HP上でご覧下さい。当誌P5にはグラスホッパーのクラブハウスに歩夢選手を訪ねたインタビュー記事も掲載しています。

ワールドカップ日本代表には2人共選ばれませんでした。その分しっかり体力を蓄え、来年も更なる活躍を期待しましょう。そんな日本代表はドイツに勝って嬉しい驚き！

その他、ジュネーブ国際音楽コンクールではピアノ部門で五十嵐薫子さんが第3位、作曲部門では中橋祐紀さんが第2位と若い世代の聴衆賞など合計4つの賞を受賞しました。中橋さんは隣国のパリに留学中ということで、ジュネーブ滞りもお気に召して、そのうちチューリッヒまで足を伸ばしてくれそうです。そのパリで開催されるロン・ティボー・クレスパン国際コンクールピアノ部門では亀井聖矢さんが韓国人と共に優勝しました。

続く戦争や食料/エネルギー危機に無力感を覚えますが、そんな嬉しいニュースで華やきながら、良いお年をお迎え下さい！



*Viel Freude zum neuen Jahr!*

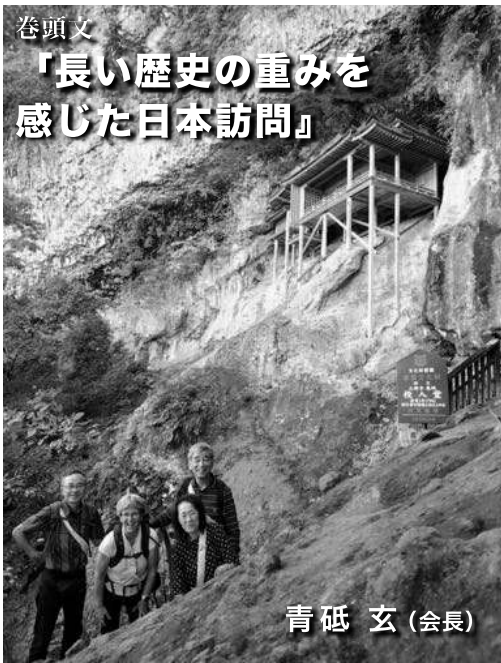
上の写真、凄い迫力ですね～！！瀬古歩夢選手の勇姿です。こういう瞬間を切り取れると、カメラマン冥利に尽きるでしょうね。セカンドネームが「ダイスケさん」というカメラマンの作品です。そしてこんな臨場感のある写真を会報でお届けできるのも、グラスホッパー・クラブ・チューリッヒのサポートによります。来年また観戦企画を実施しますので、ご一緒に応援したい方はご応募下さい！



- ◆ 巻頭文 『長い歴史の重みを感じた日本訪問』 青砥玄
- ◆ 私のイチオシ、シェアします！ Vol.30 『ウズベキスタン・シルクロードの旅』 奥田 悦子 ポスハルトさん
- ◆ 古典籍スクール 其の十 「江戸の歌舞伎熱」 ブランド啓子
- ◆ 【SPECIAL INTERVIEW】 グラスホッパー・クラブ・チューリッヒ 瀬古歩夢選手
- ◆ KETTE Vol.164 谷川 美頼さん (Konstanz在住)

巻頭文

## 「長い歴史の重みを感じた日本訪問」



青砥玄(会長)

コロナ禍で叶わなかった日本行きを、10月に実現しました。目的はお墓参りと親戚周り。並びに伊勢神宮参拝と、伊勢路の熊野古道を家内と歩くことでした。

### 友人との再会

まず郷里の松江では旧来の友人夫妻と再会し、彼らと一緒に松江から車で行ける三朝(みささ)温泉旅行へ。友人の提案で途中、“三徳山三佛寺の投入堂巡り”に立ち寄りました。三佛寺の奥院として建造された仏堂である「投入堂(なげいれどう)」は断崖絶壁に建つため、険しい山道を登って参拝しなければなりません。もともとは修験道の修行の場で「日本一危険な国宝」ともいわれている所です。提案した友人は、日頃山登りはしないので実際に行くまで不安いっぱいだったそうですが、決意して自然石やたくさんの木の根っこがはびこる急な山道をご夫婦汗だくで登り続け、巡礼路をついに完歩！絶景にも感動し、2時間の行程を無事に終了したその達成感は極めて大きく、友人は「生き返った、ありがとう」と、旅費の全額を払うと主張してきました。その後一緒に温泉に浸かり旅を大いに楽しみましたが、数日の間筋肉痛だったそうです(笑)。

### よみがえりの聖地

実は家内と私は2018年に初めて熊野古道を訪れその魅力に目覚め、今回再訪しました。和歌山・三重・奈良の3県にまたがる地域は「紀伊山地の霊場と参詣道」として2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されています。熊野古道とは、紀伊半島南部にある熊野三山(熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社)と、伊勢神宮や大阪、和歌山、高野山及び吉野などを結ぶ、古い街道の総称です。私たちが前回参拝した熊野本宮大社は、実は前スイス大使の本田悦朗氏が顧問を務めている場所でもあります。

古来より日本では、人々が生活を営むに

対して、山は神や先祖の霊が宿る神聖な場所であると考えられてきました。日本書紀にも登場する熊野の神々は自然信仰に根ざしていましたが、奈良から平安時代にかけては、仏教・密教・修験道の聖地となり、神=仏であるという神仏習合の考え方が広まりました。中でも熊野は神々が宿る深山の霊場であり、訪れた者は心魂が蘇り新たな気持ちを抱くため「人生出発(たびだち)の地」といわれるようになったとのこと。有史以来から続く自然信仰、熊野修験に代表される山岳宗教、真言密教の高野山、神道の伊勢と、神仏習合の信仰形態が相まり、極めて独特な日本固有の宗教観を生む土壌となっています。平安時代には「浄土の入り口」として多くの皇族や貴族がお参りするようになりましたが、浄土へお参りして帰ってくるということは仏教では死と再生を意味するため、熊野三山は「よみがえりの聖地」として今なお多くの人々の信仰を集めています。

### お伊勢参り

家内と私はまず、日本人なら一生に一度は行きたいといわれる”お伊勢参り”を実現しました。伊勢神宮について(デジタル大辞典)には次のように解説されています。

「三重県伊勢市にある皇大神宮(内宮 ないくう)と豊受(とよけ)大神宮(外宮 げくう)の総称。内宮は皇祖神である天照大神(あまてらすおおみかみ)を祭り、神体は三種の神器のひとつ、八咫鏡(やたのかがみ)。外宮の祭神は農業などをつかさどる豊受大神。白木造りで、20年ごとに遷宮を伴う改築がある」

訪れてみると、日常の喧騒の中から神宮の敷地内に入るだけで背筋が伸びるというか、心が正されるといった感覚でした。平安末・鎌倉初期に生きた漂泊の歌人・西行法師が伊勢神宮に参拝した折に詠んだ有名な歌を想いました。

「何事のおわしますかは 知らねども、  
かたじけなさに 涙こぼるる」

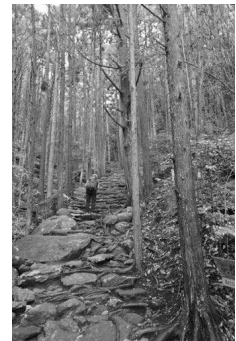
これぞ正に日本精神の神髄と思える心の世界が表現されています。そういった厳肅さを感じさせる神宮敷地内では、うっそうとした森の中にいくつかの神社が鎮座しており、歴史を感じさせる巨木がその周りを覆っています。敷地内は平日にもかかわらずものすごい人出。若い方々が多いのには驚きました。神社というのは「お願いごと」をしに行くところではなく、「感謝」をしに行くところだと学びましたので、そういった気持ちで参拝をいたしました。

その日の、外宮、本宮から都丸駅までの熊野古道伊勢路は総計約20キロの長い行程でしたが、起伏がないので楽しみながら歩きました。

### 熊野古道・伊勢路

その後、熊野速玉大社のある新宮市に宿をと、熊野古道・伊勢路をさらに進みます。二本

島峠・逢神坂峠・大吹峠を越える道は歴史を感じる苔むしたたくさんの石段で、猪垣もあり、歴史と風情を感じられる道のりです。峠といっても標高はさほど高くないため、初心者には最適な所でしょう。大吹峠はヒノキの美林ばかりではなく珍しく竹林がたくさんあり、石段のいたる所に欧州では見かけない赤いカニが多く生息していて、不思議な光景でした。翌日は、これぞ熊野古道というとても美しい松本峠を超えから出発して、新宮を目指します。ほとんどが海辺の道(七里御浜22km)で、長く海が広がる絶景を楽しんで足を運びます。松本峠では小学校の遠足でしょうか、30人ほどの子供たちが先生方に引率されていて、お互い自然に挨拶を交わしました。そうした道中、大泊駅で日に数本しか来ない電車を待つ間、お店が一つもない大泊の村を散策していた際、老人用の歩行者で行んでいた老婦人に挨拶をしたきっかけで小一時間話しをしました。一人暮らしの彼女とは自身の身の上話からはじまり景気の話など、親しく会話が弾みました。「日々話をする相手が居なくて寂しい」と言われ、この出会いをとても喜んでおられました。旅先でのこういった一期一会は旅の喜びの一つです。



七里御浜に沿った浜街道沿いにある小さな神社にお参りして、そのの説明書きを読んで驚きました。何とそこは日本が誕生したとされる国生み神話で、神々の母であるイザナミノミコトの御陵として伝わる、花の窟(いわや)神社でした。その神社の奥には45mもある巨大な岩がご神体として鎮座し、そこに約170mの巨木が掛けられています。8世紀に書かれた日本書紀にもその記載があり、現在でも毎年、氏子らによって「お綱掛け神事」と呼ぶ、その巨岩に綱を掛け花などを祀る神事が続けられているとのこと。ここは日本最古の神社といわれており、日本神話の世界が現代までその伝統を守り続け存続しているという事実に大いに感動いたしました。

多くの日本人が歴史的に心を込めて歩いてきた道、日本の原風景を訪ねて、まず自分の足で歩くことを通して、五感ばかりでなく心で感じる世界がたくさんありました。デジタル社会の現代においては、そういった目に見えない部分こそ、大切にしていかななくてはならないと強く感じました。先回国帰した時の巡礼もそうでしたが、今回の旅を通して先人たちの作り上げてきた伝統というか歴史、その努力あるいはその人たちの繋がりとというものを感じることができたのは大きな収穫でした。それと同時に、では自分は次の世代に何を残せるのだろうかと考えさせられた次第です。

◆ご意見・ご質問は青砥まで。Gen.Aoto@toyota.ch

9月26日から10月6日まで、ウズベキスタンに行ってきた。その時の人との出会いを中心に書こうと思う。まずイスタンブール空港で乗り換え時に、2人のタシケント市民に遭遇。Veronikaさんはベルンに10年在住のロシア系ウズベク人。ちなみにロシア系は3%。Gulrukhさんは、ルツェルンの学校でHospitality Managementを学ぶウズベク人。

タシケントは1960年代の大地震後、6つの旧ロシア(ソ連U.S.S.R.)の共和国によって再建されたので、とても現代的で、旧共産党圏によくある巨大な記念碑が街中にある。地下鉄の駅は各駅毎に異なる装飾が施され、宇宙飛行士のテーマの駅が印象深い。

現地集合のフランス語圏からのグループは総勢17人で、ベルギーのフラマン語圏から7人と、ジュネーブから5人。ヴァレー州から2人と、ジュラから2人。全員が退職しており、以前の職業は、ベルギー人のうち3人がツァコンで、ベルシヤ語やアラブ語ができる。その他科学者、看護師などでもいて、ジュネーブとヴァレー州から来た人の中には国連職員(ITU)とCICRのキャンプ運営担当がいた。他にも技術者、銀行員、旅行代理店、薬剤師、ラボのウイルス分析者などがいて、彼らの話はとても勉強になった。

ガイドはサマルカンド大学でフランス語を専攻したSaodatさん。ウズベク語の名前には、全て意味があり、彼女の名前は「幸福」という意味。前出のGulrukhさんは「花の精」を表すという。ウズベク語は日本語、トルコ語、韓国語と共に、ウラル・アルタイック語に属している。

ベルシヤのゾロアスター教の影響で、人は人生において3つの事を成し遂げるべきであり、その3つとは、1) 子孫を作る、2) 家を建てる、3) 木を植える、事だそう。3つ目がとても興味深い。



ウズベキスタンの伝統的な衣装

ウズベク人を知るためには、市場と墓場に行くが良い。埋葬は昔は禁止されており、その理由は地下水の汚染を避けるため。遺体は丘の上にさらされて、鳥や野獣に食べられる。チベットの鳥葬に似ている。一年後に骨を拾いに行き、骨壺に入れる。「送り人」のように遺体を拭いて、死亡粧を施す仕事が女性によってなされる。昔はこの女性たちは顔を隠して、人知れず家に入っていった。

## ウズベキスタン・シルクロードの旅

奥田 悦子 ボスハルト さん



サマルカンドのシャーヒ・ズィンダ廟群



ロードへ向かうには帰らない」  
ナム戦争の時、アメリカからカナダへ逃げていた conscientious objector (良心的兵役拒否者) のような感じ。

食べ物は新鮮な野菜と果物がとても美味しく、試したメニューはピラフ、manty (日本の水餃子に似ている。中身はひき肉やかぼちゃ、ほうれん草など)。Khivaでは名物の「shout-oshi」という、アニスの入ったパスタが珍しかった。肉の串焼きも旨い。トルコのケバブと違って、ひき肉ではなくて、肉片を使う。



ウズベキスタンのホリデーピラフ

サマルカンドからタシケントまで新幹線のような、スペイン製のTalgoに乗る。車内ではコーヒーかお茶、クロワッサンとカップケーキが出た。アルコールは公共の場では禁止なので、ビールを飲んでいる人はいない。ビデオが設置され、イヤホンがもらえて、ウズベクのヒット曲を聴く。

国内でビール、ワイン、ウォッカ、コニャックを製造しているが、ビールはなかなかいける。ワインは甘口のものが多い。葡萄の糖分が多くて、コニャックは美味しい。ワインは、昔は土に埋めた壺の中で熟成していた。ジョージアワインのようだ。タシケントからウルゲンチまで乗ったウズベキスタン航空には、タシケントー東京の直行便がある。

旅行最後の2日間は埃アレルギーにかかる。サマルカンドの美術館で泥壁の壁画を取り外してパリのルーブルに貸すための準備中で、その時涙が止まらなくなった。また、食事が油くて、下痢に苛まれた。トイレは町ではトルコ式や洋式、田舎では汲み取り式もあった。そして新幹線に隣に座ったモスクワから来た退職後の女性に風邪を移された。

散々な目に遭ったが、最終的にはとても心に残る旅だった。

2023年もANAの翼で

年末のご帰国ウェビナー開催!

皆様のご質問にジュネーブ領事事務所からもお答えいたします。  
2022年12月8日(木) 17時から

お申込みはこちら ▶ [bit.ly/3A0BUgs](https://bit.ly/3A0BUgs)



本年もANAをご愛顧いただきありがとうございました。  
来年もどうぞよろしく願い申し上げます。

ANA Inspiration of JAPAN

STAR ALLIANCE

ANAジュネーブ営業支店  
Tel: 022-909-1050  
Email: [gva@ana.co.jp](mailto:gva@ana.co.jp)  
[www.ana.co.jp/ja/ch](http://www.ana.co.jp/ja/ch)



GlobAS Relocations Europe GmbH

スイスからの引っ越しは、グローバス・リローケーションにお任せを! 海外・国内及び欧州内引っ越しサービス、運送/販売品の市内輸送、処分品廃棄等の関連付帯サービスも承っております。ご契約特典として空港宅配無料クーポン、JAL・ANA マイル積換サービスのご用意がございます。詳しくはお問い合わせ下さい!

Email: [info@global-relo.com](mailto:info@global-relo.com)

HP: <http://www.global-relo.com>

Tel: +41(0)80-180-388-21(日本語直通) 西暦三鳴



# 古典籍スクール

ブランド 啓子 (古典籍研究家)

其の十

## 江戸の歌舞伎熱



### 1 世界と趣向世界と趣向… 歌舞伎のプロット

これまで、江戸の人々の識字率の高さが導いてきた江戸文化を考察してきましたが、最も重要な江戸の娯楽は歌舞伎でした。つまり歌舞伎は、江戸人にとって最高の娯楽、そして最大の関心事でもあったのです。その基本的な構造がほとんど完全に形成されたのは、元禄期(1688-1704)です。大まかな物語「世界」と新しい工夫「趣向」、これらを組み合わせて脚本を作りました。この工夫は幕府からの締め付けをなんとかくぐり抜けて、歌舞伎を存続させるための知恵でした。例えば同時代(江戸時代)の話や人物名は使用禁止のため、時代や人物名を変えて、題材は実際の事件や故事、浄瑠璃や能などからも得ています。当時は事件が起きると素早く歌舞伎や浄瑠璃に取り入れたので、これも人気要素の一つでした。もちろん時代背景はすっかり変えて、過去の事として描かれます。

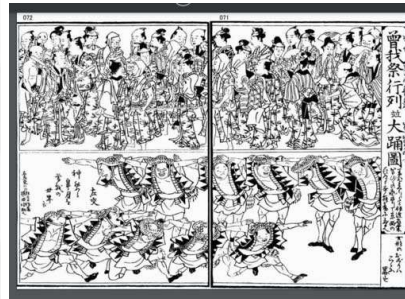
### 2 悪場所

幕府にとっては、歌舞伎は吉原の遊郭と並ぶ二大悪所。芝居小屋は中心から離れた特定地域に隔離され、監督・規制が強められました。ともすれば、武家社会の秩序を乱しかねない危険な力を秘めているこの産業。例えば、近松門左衛門(1653-1725、浄瑠璃・歌舞伎作者)が実際の心中事件を元に、元禄から享保の時期に曾根崎心中・心中天網島・女殺油地獄などの大ヒット作を書き、これらが上演されると、実際に心中ブームが起きてしまいました。幕府は1723年に心中物の上演を禁止。「心中」という言葉さえも禁止して「相对死(あいたいじに)」に置き換えました。

悪所と呼ばれるからには、このように人々を絡め取ってしまう深い魅力があったのでしょう。おまけにここは、一日に千両箱が三つ動いたとされる江戸経済の中心の一つでもあったのです。「日に三箱(みはこ)鼻の上下 臍の下」。これはそれぞれ、目(歌舞伎芝居)、口(魚河岸)そして吉原遊郭で動いたお金とされています。関連業者は呉服屋、香木屋、髪結、化粧品業者、装飾品業者、生花業者、絵草子屋、仕出屋、芸者衆などなど……。

### 3 歌舞伎見物

江戸には幕府の許可する芝居小屋が四座ありましたが、(中村・市村・森田・山村)木挽町の山村座は正徳四年(1714)絵島・生島事件で取り潰しとなり、江戸三座となりました。芝居見物が江戸人にとってどの様に素晴らしい物だったかは、様々な記録に残されています。「名ごりの夢」東洋文庫9(1975)という本の著者、今泉みねは幕末期の蘭医の娘で、その本の中で『きれいな絵巻物でも繰りひろげるような気持で、あそこのお芝居のことが思い出されます』と、お芝居見物の前日からの興奮と喜びを事細かに語っています。家族総出で大騒ぎで準備した後、屋根船に乗り出かけます。船着場では特定の茶屋が出迎えてくれます。『客は幾組か知れませんが一向混雑もなく、きれいに静かにゆくところのたくみさ……茶屋の人々のあつかい振り、何から何までほんとはに気持ようございませ……やがてきまった場所に落ちつてながめる周りの観客の、これまた美しいこと美しいこと。誰も彼も競いに競って意匠をこらし粹をつくっておりますので、時には舞台さえおされ勝ちのこともあります』もう舞台と客席の枠も溶けてしまったかのよう。この



曾我祭行列並大踊圖 / 美を尽くしたる伊達衣装、おもひおもひの芸尽くして 東西の花道より本舞台に至る也。 女形のおどりはここに略す。  
(左頁)  
神祭る早月を曾我の世界哉 左交 右 左交は、狂言作者桜田治助也

ように裕福な人々、武士階級、庶民などが入り混じり、芝居小屋はふしぎな空間を形成していました。それは、身分の粹のない茶室や遊郭の原理と共通する空間だったかもしれません。また、正面二階棧敷の最後方の観客席は、俳優の台詞(せりふ)がよく聞きとれないところから「つんぼ棧敷」とよばれました。しかし目の肥えた見巧者が集まるので、役者には重視され、この「大向こう」に満足してもらうために芸に磨きをかけたものなのです。

<次回予告>再び江戸の歌舞伎でお目にかかりましょう。



## BULLETIN BOARD

### 世界のクリスマスの歌コンサート

世界10か国のクリスマスメロディーを7つの言語で歌い、お話とともに進める楽しいプログラム(3回)

出演 ゴレイ由美(ソプラノ)  
Marlies Nussbaum(ピアノ)

- 2022年12月4日(日) 17:00  
Villa Irniger, Bei Richard Irniger  
Schneckenmannstr. 8, Zürich  
入場無料(コレクテ) アペロと軽い食事 予約必要 Tel. 044 251 14 25, richi.irniger@bluewin.ch
- 2022年12月17日(土) 14:30  
Altersheim Sonnengarten 舞台在り  
Etzelstr. 6, Hombrechtikon  
入場無料(コレクテ)
- 2022年12月18日(日) 17:00  
ZunftHaus zur Waage,  
Münsterhof 8, Zürich  
入場無料(コレクテ) <ゴレイ>

### クリスマスコンサート~10年以上恒例のクリスマスコンサート~

出演 ゴレイ由美(ソプラノ)  
Elisabeth Boeglin(ハーブ)  
Jan Grimm(フルート)

2022年12月26日(月) 17:00  
Ref. Kirche Buchberg-  
Ruedlingen, in BUCHBERG,  
Dorfstrasse 2, Buchberg  
教会の下方オープン無料駐車場有  
入場無料(コレクテ) <川野>

### 日本語のプレイグループ・メンバー募集しています

日本語を話す保護者と子供たち(0歳~幼稚園入園前)のためのプレイグループをチューリッヒで行います。詳しい情報はGZ Heuriedのウェブサイト。Angebotをクリック、JAPANISCHE KINDERGRUPPEと検索してご覧ください。連絡先はエグリ琴美 078 700 36 76 <エグリひろ子>

## 大使館関係ニュース

www.ch.emb-japan.go.jp

◆領事出張サービス(チューリッヒ日本人学校にて)  
2023年2月18日(土) 10時~12時、13時~15時  
申し込み: 2023年2月3日(木) 大使館必着

### ◆日本入国前の手続きについて

\*「ファストトラック(検疫)」は11月1日より「Visit Japan Web」(ウェブで入国手続きができるサービス)に登録して利用する。  
<https://vjwt-digital.go.jp/>

### \*現時点でスイスからの入国に必要な書類

- ワクチン3回目接種証明書または、72時間以内の出国前検査証明書(陰性証明)
- 質問票 (在スイス日本国大使館の説明ページ)

▶PCR検査結果を日本の厚生労働省が定める書式に記入してもらうことが可能な検査機関

- チューリッヒ空港 Checkport (Check-in 2, Level 1)
- チューリッヒ空港 Viselio Flughafen Zürich (Radison Blu Hotel, スイス式9階)
- その他日本のフォーマットに記載が可能な検査機関



(a) (b) (c)

SPECIAL INTERVIEW

Grasshoppers Verteidiger

AYUMU SEKO



Foto: kunturi.ch

グラスホッパー・クラブ・チューリッヒ  
瀬古 歩夢 選手

(コンティエニ監督とハイタッチ!)

Edelweiss2021年11月号でお読み頂いた通り、川辺 駿選手が「次の日本人選手契約に繋げたい」と願って頑張った甲斐あり、グラスホッパー・クラブ・チューリッヒに2人目の日本人選手が移籍して来たことは、6月号でもレポートしました。セレッソ大阪で叩き上げた瀬古歩夢選手は1月からプレイしているので活躍する姿を追っていらっしゃる方も多いかも知れませんが、さすがAB型、会う度に違う



面を見せてくれる22歳。コンティエニ監督が「アユムはロックスター」と断言するオーラの、内に隠れた素顔を探ってみました。

2000年6月7日大阪府大正区に生まれ、5歳上の兄を真似てサッカーを始めた歩夢君、「コナン(名探偵コナンは射出ベルトからサッカーボールを出して事件を解決するそう)がボールを出すのがカッコいい!」と、4年生

までは小学校のチームで練習し、その後セレッソ大阪アカデミーに合格した辺りからプロを目指したそうです。

2015年でU-15の、翌年はU-16の日本代表に選ばれた高校生の頃、「プロ、いけるかな?」という手応えを感じ始めたと回想します。16歳11ヶ月というクラブ最年少でセレッソ大阪にデビューし、U-17の日本代表にも選ばれるも、2017年に半月板損傷で初めての挫折を味わいます。最初の1ヶ月はベッドで過ごし、それからハリハリ8ヶ月間の戦いでした。でも「しゃーないわ!」と思って筋肉等をトレーニングしていたそうです。逆境時にも悲劇の主人公にならないのが歩夢流?! 強固なポジティブ思考はどうやって習得するの~?!

「いや、元々あんま考えてないです...」う〜ん、瀬古家の遺伝子? 「いや、両親はもっと堅実っていうか... 兄も...」突然変異の利器らしい...



10月29日の負け試合後に恐る恐るグラウンドにお邪魔した時も、「自分の判断ミスで失点してしまったので取り返さなきゃ、と集中した」と

川辺 駿選手とは、プライベートでも仲良し。

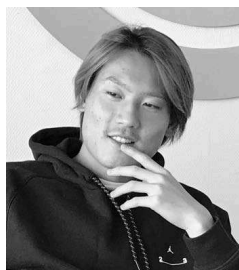
ポジティブに仰る。グラスホッパークラブのHPに公開されているダイジェスト版を繰り返し観ても、明らかに歩夢選手のミスという類のものではないと思うのだが、自分に厳しい! 「人には優しいのか?」と疑問を投げかけてみると「いや、他人にも自分にも厳しくないです」とあっさり。厳しいと思わず鍛錬するのが成長の秘訣?



以前 Tages Anzeiger 紙のためのインタビューで通訳した時も「ドイツ語は?」

と聞かれて、「やりません」と答えたのをそのまま訳しているのか、躊躇した。今回その点についても詳しく聞いてみると、「ようやく英語でコミュニケーションが取れるようになって来たから、まずは英語に集中したいから」と言う。「ドイツ語は難しいし、勉強はキツイ」と言うが、最近の彼はしっかりチームの守りを固めている。「バックの守りに日本人を取るの賭け」と分析する。「それでも駿君が活躍して、僕もとってもらえ

て、もっと英語で返答ができるようになりたいけど、それでもリスクを負って取ってもらったことで、将来Jリーグからスイスに来る日本人が増えるように頑張りたい」と真摯に語る。



歩夢選手の特徴と言われる「正確なフィート」も、「ボールの扱いや判断力は練習と経験の量でのみ得られるもの」と言う。それを22歳で身に付けているということは、それだけ他人より練習してきたんだ...。ただ恵まれた才能を持って生まれて来ただけではないんだ! そんな当たり前の事を忘れさせるような「普通の若者感」が歩夢選手にはあるのだ...。2025年までの契約期間、今はこのリーグでトップを目指し、ステップアップしていきたいと語る、じっくり構える姿が大器を感じさせる。

最後にJCZに望む事があれば、と聞いてみた。「皆さんで応援に来て下さい」等、普通の回答を想像していると、なんと耳を疑うような願いが... 「日本人会に呼んで下さい!」えっ?

「皆さんも異国に来て頑張っているの、そういう話も聞きたいし...」そんな瓢箪から駒にあやかり、イベントを企画中ですので、お楽しみに! 実際に会えるその日まで、皆様も是非一緒にグラスホッパーを応援して下さいね。

そんな中、元日本代表DFの原 輝綺選手もグラスホッパーへ移籍する可能性が高いと報道されていました。これは益々、目が離せません!

(文: SN、写真: kunturi.ch、CA、SN)



Letzigrundのピッチでボールを追う15番!

★来年、チューリッヒで行われるGC戦の観戦イベントも計画しています。みんなで一緒に応援に行きましょう!

瀬古歩夢選手よりJCZ会員の皆様に動画メッセージを戴きました。JCZのHP(www.japanwiss.ch)にアクセスして是非ご覧ください!



清水(稲継)理恵

食の歳時記

生物学者ママの

## 「酸っぱい」お話し 調味料から見える文化背景

チューリッヒでは街の随所に中東系の食料品店を見かける。オーナーの出身国や、置いてある製品の主な生産地はどこか、色々バリエーションがあるのだろうとは思いますが、おそらくはトルコやレバノン、その周辺のアラブ諸国、あるいはマグレブ(北西アフリカ諸国)かもしれない。地中海沿岸地域の食文化は、国が違っても共通性は高い。ヨーロッパ人が韓国の海苔巻(キンパ)と日本の巻きずしを「同じ」と認識する程度には、我々日本人から見て似通っていると思う。

さてこれらの中東系の(としておこう)食料品店は、ミグロやコープなどおなじみのスーパーとは少々違う品揃えを誇っている。野菜ではオクラが置いてあったり、パプリカの類も様々な色と形、あるいは辛味のものも豊富だ。シシトウ?と買って買って炒め物にしたら激辛青唐辛子だったなんて失敗もある。(お店の人はそれほど辛くないと言ったのだが…)精肉コーナーがある店では羊の肉の品揃えが特徴的で、通常は見かけない内臓の部位まで置いてあることもある。羊肉の値段はそれほど高くはないが美味しい。よく食べられる食材で扱い慣れているからだろうか。

中でも一番面白いのは、それらを料理するに欠かせないのである乾燥ハーブ・スパイス類の棚で、これまた種類が豊富でかつ瓶のサイズが大きい。小瓶ですらなかなか使い切らない私から見ると、どうやったらこれだけ使えるのか想像もつかないサイズだ。ドイツへの輸出向けに作られているのか(ドイツにはトルコ系の人が多い)、ドイツ語と現地語がラベルにかかっていることも多い。バジルやローズマリーなどおなじみのものから見たことないものまで、何十もの瓶が並び棚には、よく見ると少し毛色が変わったものも置かれている。小さい白い結晶が入った瓶で、Zitronensäure(クエン酸)と書かれているものだ。



スイスの普通のスーパーではクエン酸を見ることはない。日本でも一般家庭に常備してあるとはいい難く、どちらかというと調味料

よりも掃除に使われたりと薬品的な位置付けだ。加工食品には酸味料として幅広く使われているが、一般のスーパーではあまり見られず、食品品質のものは主に薬局で扱われる。それがこの中東ショップでは、スパイス類に混じって、あたかも必需品のように売られている。つまり、家庭で日常的な酸味料として使われているということだ。酸味といえばお酢じゃないの?と違って、調味料の並んだ棚を見てみると、なるほど酢の類は売られていない。なぜお酢ではなく、わざわざクエン酸なのだろうか?

いろいろ調べたり考えたりした結果、どうもこれはイスラムの教え、禁酒と関係しているようだという結論を得た。お酢は発酵食品であり、その工程では必ずアルコールが生成される。以前書いたように、アルコール(エタノール)が更に発酵したものが酢酸、つまり我々が日常的に使う調味料のお酢の酸味の素である。ただし、アルコールは発酵で完全にゼロにはならず、ほんの少量(0.01%など)残る場合が多いらしい。これで酔っ払うということはありませんが、イスラム教の戒律の厳しいところでは、このほんの僅かな残存アルコールが問題視されるようだ。もしくは、お酢を作っていると見せかけて実は途中の酒を飲んでいる、というような戒律違反を未然に防ぐために、その昔にお酢の醸造そのものが宗教的な禁忌とされ、時間が経つうちに醸造文化そのものが消えてしまったのかもしれない。

そう考えると、大量のクエン酸がお酢の代わりに売られているのにも納得がいく。また、地中海地方の料理で酸味料としてレモンを多用するのも、単にたくさん取れるからという理由だけでなく、お酢の代わりということなのだろう。レモンの酸味の素は主にクエン酸だ。レバノン料理や中等料理を作る人のブログなどを見ると、レモンを買い忘れた際の代替品、もしくは料理を水っぽくしたくない酸味が欲しい場合にクエン酸が使われるなどと書かれていた。チューリッヒでも最近はやっているレバノン料理などのレストランで食べることができる、ひき割り小麦とパセリなど野菜の酸っぱいサラダ(タブーレ)や、ブドウの葉で米を包んだ煮物(マハシー)などにクエン酸は欠かせないようだ。



発酵大国の日本では、酸味といえばまず穀物から醸造されるお酢で、ヨーロッパ諸国ではブドウやりんごから作る果実酢が主流だ。しかし中東の台所では、我々に馴染み深いお酢の出番はないらしい。

### チューリッヒ日本人学校(全日校) 小学部 新1年生入学説明会及び体験入学会について

来春、小学校入学を迎えるお子様がいらっしゃるご家庭にお知らせいたします。保護者の皆様には入学説明会と授業参観、お子様には学校見学と体験を下記のとおり開催いたします。たくさんのご参加を心よりお待ちしております。

#### 記

- 1 対象 2023年4月に小学校入学を迎える児童(2016年4月2日~2017年4月1日生まれ対象)
- 2 日時 2023年2月3日(金)午後1時35分から午後3時10分まで
- 3 場所 チューリッヒ日本人学校(SBB Uster駅下車 徒歩10分)
- 4 内容 保護者様 — 「入学説明会」「授業参観」  
お子様 — 「学校見学」「学校体験」
- 5 服装 動きやすい服装・体育館シューズ・水筒・ハンカチ
- 6 申し込み 参加ご希望の方、及びご質問は1月27日(金)までに下記メールアドレスにご連絡ください。
- 7 その他 日時等に変更がありましたら、お申し込みいただいた方に個別にご連絡いたします。

<Mail jszurich@bluewin.ch>  
<学校Tel 044-941-1554>  
担当 今野 千秋

「書き初め・餅つき大会」が開催されます!  
2023年1月8日(日)  
チューリッヒ日本人学校にて。  
詳細は折込チラシをご覧ください。

### チューリッヒ日本人学校補習校 2023年度申請受付中

入学募集(2023年4月入学) 小学部1年 午前クラス・午後クラス  
幼稚園部 午前クラス・午後クラス

- ・申請書をお送りください
- ・希望時間帯(9時開始、11時開始、14時開始)がある場合、申請書の備考欄にお書きください
- ・クラス分けは2023年1月28日に行います
- ・クラスが成立しない場合、ご希望に沿えない場合があります
- ・各クラスとも定員に達し次第、順番待ちとなります  
2024年度入園・入学申請は、お待ちください

#### 幼・小・中・高 教員・代替教員 随時募集

- 履歴書をお送りください
- ・毎週土曜日2~4時間の国語の授業
  - ・教員免許状のある方(どの教科でもかまいません)、塾で教えた経験のある方
  - ・労働許可がある方に限ります

問い合わせ先  
Japanische Schule (Hoshuko)  
TEL 044-941-1554 電話での問い合わせ: 土曜日  
E-mail hoshukoz@hotmail.com  
HP www.jszurich.ch



《講演会》福場先生の歯にまつわるお話

誰にとっても身近な話題、『歯』にまつわるお話を、東京医科歯科大学からチューリッヒ大学に留学中の福場駿介先生にさせていただきます。ご専門は歯周病やインプラント治療ということですが、今回歯科にまつわる一般的なお話に加え、皆さまの日ごろからの口の中に関する疑問にもお答えしてさせていただきます。また講演終了後はお茶をいただきながら、先生への質問はもちろんです。9月にいらしたばかりの先生とチューリッヒ事情などお話ししましょう。皆さん、ぜひご参加ください。\*事前のご質問もぜひお寄せください！

日時：12月15日(木) 14:00-15:30

場所：Emil Frey AG 本社の会議室  
Badenerstrasse 600, Zürich

定員：20名 申込締切：12月10日(土)

申込：JCZ HPイベント申込フォームより

またはメールにて、kikaku@japanswiss.ch



アフタヌーンカフェのお知らせ

アドヴェントが始まって、何かとせわしない毎日ですね。町に出たついでにカフェで一休みしませんか？きれいなイルミネーションを楽しみながらの帰り道もいいですね。いつものJelmoliのカフェでお待ちしています。

日時：12月8日(木) 14:00-16:00

場所：チューリッヒ Jelmoli 3Fのレストラン

申込：JCZ HPイベント申込フォームより

またはメールにて、kikaku@japanswiss.ch



2023年度JCZ総会・新年会のお知らせ

2023年1月29日(日) 於 Hilton Zurich Airport

11:00 開場～アペロ、12:30 年次総会、12:50 新年会(予定)

3年ぶりにリアルでお目にかかれるよう、総会・新年会を開催する運びになりました。年明けに参加申し込み方法を記載した案内状をお送りしますので、予定を空けておいて下さい！

新年会では、ウィーン音大卒のヴァイオリニストで、当誌編集部新メンバーでもある阿部牧子さんと、チューリッヒ芸術大学チェロ科に留学中で、当誌発送作業を頻繁にお手伝いくださる吉田啓晃さんが演奏していただきます。

今回はシンプルに、受付時に配られる番号で福引をします。景品は大歓迎ですので、ご提供いただける方や企業・団体の皆様は青砥会長(Gen.Aoto@toyota.ch)までご一報下さい。お名前を記載した「景品ご提供団体一覧表」を会員全員に送付、また新年会時にも配布させていただきます。



JCZ10月イベント感想文



『リンツ・チョコレートミュージアムガイドツアー』に参加して

10月30日にチューリッヒのキルヒベルクにあるリンツのチョコレート美術館に行きました。中に入ると直径9.3mのチョコレートの噴水がお出迎え。本物のチョコレートが流れているのでエントランス中に甘い香りが漂っていました。まるで本物のチャーリーとチョコレート工場のように、参加者の皆さんは大興奮！期待が高まったところでツアーが始まりました。美術館ではリンツの歴史だけでなく、チョコレートの作り方や歴史、スイスがチョコレート大国となった由来がわかりやすく展示されています。

ツアー参加者は、大変貴重な生力カオジュースの試飲や、様々なチョコレートの食べ比べなどができ、体験しながら学ぶことができました。なんと最後にはリンドールチョコの食べ放題まで！お腹も心も満たされた1時間でした。今回参加できなかった方も是非一度足を運んでみたいいかがでしょうか。(M.I.)

各URLの詳細は、japanswiss.ch「最新ニュース」でご覧下さい。また、以下の催し物は全てチューリッヒ市内です。

サッカーワールドカップ パブリック・ビューイング

～12月18日

▶Don Weber Heinrichstrasse 213 www.donweber.ch

▶Halle 550 Birchstrasse 150 https://publicviewing.zuerich

▶Eventhaus Langstrasse Langstrasse 84  
https://eventfrog.ch

クリスマス・大晦日イベント

★クリスマスマーケット

- Niederdorf ～12月23日 www.weihnachtsmarkt-doerfli.ch

- 中央駅 ～12月24日 www.zuerich.com

★ILLUMINARIUM 国立博物館の中庭でクリスマス気分の

ライティングショーとDJ、食事

Landesmuseum Zürich Museumstrasse 2

～12月30日 www.landmuseum.ch

★サーカス・コネリ ～12月31日

Bauschänzli, Stadthausquai 2 bauschaenzli.ch

★船上大晦日 12月31日 20:00～0:50 www.zsg.ch

Schiffsstation Tiefenbrunnen / Schiffsteg Bürkliplatz

★大晦日

Bellevueplatz 12月31日 20:00 www.silvesterzauber.ch

Restaurant Adlisberg Adlisbergstrasse 75  
www.adlisberg.ch

Sablir Rooftop Restaurant The Circle 23  
www.roofgarden.ch

La Bottega di Mario Nüscherstrasse 6  
www.labottegadimario.ch

Hotel UTO KULM Uetliberg 19:00 https://utokulm.ch

その他の通常の催し物

\*チューリッヒ歌劇場 www.opernhaus.ch

パレエ「くるみ割り人形とネズミの王様」12月2日、他

カヴァッロ《エリオガバロ》(新演出)12月4日、他

今月のオススメ！

ファン・ディエゴ・フロレス リサイタル 12月5日 19:00

ブッチーニ《ボエーム》12月9日、他

《トスカ》12月15日、他 **カウフマンが戻って来る！**

\*トーンハレ tonhalle-orchester.ch

12月7～9日 19:30 ブロムシュテット(指揮)ヴェルヴァ

ルト「交響曲第2番」、シューベルト「交響曲第4番」

12月11日 11:15、14:15 クリスマスソング・コンサート

12月19日 19:30 オルガンの宇宙 バッハ、メシアン、

ブラームス、ブルックナー

12月25日 11:15 祝日マチネ

12月30日 19:30、31日 19:00 ジルベスターコンサート

ウルバンスキ(指揮)、ホムング(チェロ)、グルダ、

チャイコフスキー、プロコフィエフ

1月8日 ファミリーコンサート 細川作品

1月18～20日 19:30 ヤルヴィ(指揮)、パユ(フルート)、

レイス(ソプラノ)、グラー(テノール)、テュール、

メンデルスゾーン

\*ビュルゲンシュトック音楽祭

1月31日 20:00 Kaufleuten Pelikanplatz

www.buergenstock-festival.ch

# KETTE

## Vol.164

谷川 美頼さん  
(Konstanz 在住)

### \*お仕事は？

いわゆるバイオ研究者です。現在は浜松医科大学に籍をおきつつ、コンスタンツ大学の客員研究員として研究をしています。こちらには一年間の滞在予定です。日本では酵母を扱って研究してきました。みなさん酵母のことをよく「酵母菌」とよびますが、実は酵母はいわゆる細菌ではなく私たちと同じ真核生物に属します。ですので、酵母は真核生物のモデルとしてよく研究され、これまでに生物の基盤をなす生命現象の多くが酵母研究により明らかにされてきました。2016年にノーベル賞を受賞された大隅良典先生のオートファジーの研究も主に酵母を使ってなされました。私も“ノーベル賞！”とはいかなくとも、よい仕事をしたいなあと願いつつ日々実験台に向かっていきます。

よく私たち理系研究者はサイエンスに国境はないというのですが、コンスタンツではまさにその通りの世界を体感しています。研究室の半分はドイツ語圏外からの研究員で英語ネイティブは一人もいません。お互いに怪しげな英語(当然私の英語が最も怪しい)で会話し、ディスカッションをするカラフルな世界です。私の研究分野は基礎研究で人の役に立つことを全く想定していません(少なくとも私は)。あまりに自分の研究がオタクなことに時に不安になるのですが、ここコンスタンツで“役に立たない基礎研究”に没頭するオタク仲間を人種、文化を超えて得ることができてとても幸せを感じています。

### \*ご出身は？

埼玉県、鴻巣市出身です。都心まで電車で1時間半くらいの都会過ぎず、田舎過ぎ

ず、住みやすいところです。子供時代はクワガタやザリガニとりなどに興じて育ちました。



### \*結婚してからコンスタンツにくるまで

大学院の修士課程のときに現在の夫と知り合い、出会って2年後に結婚。当時の夫は社会人一年目、私は学生でしたので新婚生活は、それはそれは貧乏からのスタートでした。当時の日用品はほぼすべて100円ショップでそろえたのではないのでしょうか。貧乏でもお互い若くて野心があり楽しい時代でした。東京でしばしば核家族生活したのちに、上の子が小学生になるのを機に埼玉の実家で私の両親と同居をはじめ現在に至ります。4年前に浜松医大に赴任してからは単身赴任です。サザエさん一家に例えるとサザエが単身赴任をしていることとなりますので、ちょっと普通ではないかもしれないですね。常に家庭とキャリアの両立に苦労しながらここまでできましたが、家族皆それぞれこれまでハッピーであったと思っています。

もともと博士の学位をとろうと思った理由は海外で研究してみたかったからでした。ですが、博士課程進学と同時に結婚し、あれよあれよという間に2人の子供を授かり、目の前の生活に精一杯で気づくと20年が過ぎていました。下の子ども中学生になり、各種の研究留学制度の

上限年齢に近づきつつある今、海外に行くなら今でしょ！ということで文科省の国際共同研究助成に申請、めでたく採択されてコンスタンツにやってきた次第です。コンスタンツ大学では、植物のシロイヌナズナをモデル生物として研究をしているのですが、何しろ植物を扱った経験がないので悪戦苦闘中、失敗のオンパレードです。ですが、新しい環境で新しい仕事を始めるのは本当にエキサイティングで学生に戻った気分で毎日楽しいです(気分だけでなく、脳も見た目も若返りたい)。

### \*スイス・ドイツの印象

ドイツの第一印象はすべてが「デカイ・重い」ですね。ラボのスペース、おしゃべりの声やレストランの一人前はとても大きく、ドアや窓、掃除機などの家電から実験機器までいちいち重たいです。アジア人とのサイズの違いを感じますね。

また長いこと東京でせかせかとした生活をしていたので、スイス・ドイツではすべてが穏やかに進んでいるように感じています。特にこちらの人達は「待たされること」に寛容ですね。スーパーのレジの行列で誰もイライラしない！また他人のために時間を使うことを苦にしない人達だと思っています。日本では人を待たせることや人に迷惑をかけることは「悪いこと」なので、待たせない、迷惑をかけないためにエネルギーを費やして社会が疲弊しているように感じます。少しの不便さや互いの迷惑を受け入れれば日本で働く人たちはもっと幸せになれるのではないかと感じています。かくいう私も待つことがすごく苦手で、スーパーのレジの行列ですぐイライラしてしまう性分なので、ドイツ人を見習っておおらかになりたいと思う今日この頃です。

### \*会員の方へのメッセージ

これまでお会いしたスイス・ドイツ在住の方々。見ず知らずの私に日本人であるという理由だけで大変よくしてくださりありがとうございます。とても感謝しています。1年間の短い滞在ですが今後ともどうぞよろしくお願い致します。

### 編集後記

皆様、本年も大変お世話になりました。ウィズコロナでまだまだ不安定な中、戦禍が続く、物価上昇やエネルギー不足に心が休まりませんね。そんな中、来年も読み応えのあるEdelweiss誌を作りたいと思っています。企画の方も、来年は久しぶりに書初め・餅つき大会から始めて、新年会、そして毎月の企画やアフタヌーンカフェ等で皆様にお目にかかれるのを楽しみにしております。そんな企画案の1つに「作曲家・細川俊夫氏を囲む会」がありますが、子供向けコンサートがトーンハレで開催されます(P7参照)。書初め・餅つき大会と同じ日なのですが、ウスターまで行かれない方や14時15分の開演に間に合いそうな方は、こちらで予習しておいて頂ければ嬉しいです。そんなわけで、皆様、良いお年をお迎え下さいませ。(SN)

### 広告掲載のご案内

ジャパンクラブチューリッヒでは、会員の方からのお知らせ・広告の掲載、フライヤー等の会報同封配送を、有料(一部無料)で随時受け付けております。詳細については編集部までお気軽にお問い合わせください。

### 伝言板コーナーをご利用ください

200文字以内のお知らせ・ご案内は無料で掲載いたします。掲載内容責任者のお名前(会員に限る)を入れた原稿を毎月10日までに編集部へメールにてお送りください。

\*JCZでは広告・フライヤー・伝言板の記載情報については責任を負いかねます。

2022年12月・2023年1月合併号

発行責任者：青砥 玄(会長)

編集：中 東生 阿部 牧子  
アーノルド千津子 市居 美帆

\*編集部専用メールアドレス\*  
edelweiss@japanswiss.ch

チューリッヒ日本人会  
JCZ Japan Club Zurich  
Office of Honorary Consul  
General of Japan  
Utoquai 55, 8008 Zürich  
www.japanswiss.ch  
jcjz@japanswiss.ch

